



水口磨紀さんが描く美しき極彩色の癒し 魂のメッセージを 色に託した エネルギーアート

宇宙から送られてくるメッセージを、カラフルな色と

躍動感あふれる絵で表現する、アーティストの水口磨紀さん。

その人の魂が輝くための絵をコンセプトとし、地球と人々の進化への願いを込めて、
精神的に作品を作り続けていらつしやいます。

多くの人たちから人気を博す、癒しの絵の秘密についてお話ししていただきました。

お話し・写真提供◎水口磨紀さん 取材・文◎詩水淳子 撮影・構成◎編集部

エネルギー鍼を打ってから
何かが大きく変わり始めた

作品作りは、自分の内面に向き合う
作業です。

美術系の大学を卒業後、造形作家になつた私は、造形作品などを作り続けることに夢中になりました。アートオタクと言つてもいいくらい、毎日アートのことばかり考えていたんです。

当時、自分の中からメッセージ性のある言葉がよく浮かんできていました。例えば、「今回の作品タイトルは何にしよう?」と考えると、タイトルがスツと浮かぶ感じでした。今思えば、その頃からチャネリングをしていたのかも知れません。

阪神・淡路大震災の後、ちょうど30代後半に入った頃のことです。スピリチュアルなことに興味があつた私は、縁あつて、ある先生に「エネルギーの鍼」を打ってもらうことになりました。その鍼には何かが感じられ、計2回、打っていただきました。

みずぐちまき◎アーティスト&ヒーラー。アート工房ミルトス主宰。芸術の才能と癒しの力を合わせ、人々の覚醒を促すヒーリングアートを、宇宙の源と繋がつて描く。地球とともに歩める未来を作るため、スピリチュアリティを大切にしたい、自給自足のコミュニティ作りを奮闘している。

それから、不思議なことが起こり始めたんです。「何かが開いた」とでも言うのか、自分の中から祈りのような言葉や歌が浮かんできたり、体が勝手に祈りのポーズを取つたり、体の調子の悪いところに自然に手を当てている、というように……。

そうしたことが続き、どんどんスピリチュアルな世界に引き込まれていきました。同時に色のイメージやメッセージが湧いてくるようになったんです。

当時、震災で自宅が倒壊していた私は、その後、緑豊かな奈良に移り住む

